

長久手市地域協働計画策定 第四回ワークショップのレポート

長久手市くらし文化部たつせがある課
令和4年08月発行

第一回『コンセプト(仮)「まち全体で、薦がる商店街」』、第二回『協働する市民のペルソナを決定』、第三回『協働に必要な場(BA)を探求する』でした。今回は新しい視点・新しい方法をつくる思索を支援する「パターン・ランゲージカード」を使い『協働に必要な情報を探求』を行いました。

＜ワークショップの概要＞

- ・日時、場所 8月21日(日)13:30～16:30 長久手市まちづくりセンター
- ・テーマ 「簡潔でゆったりとしたつながりで、長久手の小さな課題に取り組み、協働のつぼみを作る・地域協働計画を策定する」
- ・ワークショップの目標 「地域協働計画策定に必要な要素を抽出する」
- ・今回の目標 「協働に必要な情報を探求する」
- ・参加者 15名(男10名・女5名)＜市民：在住3、在活5、在勤0、在学4、職員1、スタッフ2＞
- ・内容 チェックイン(今朝何食べた?)⇒アイスブレイク(トシ君のお使い)⇒今までの経過説明⇒前提共有(情報とは)⇒ワーク①協働パターン・ランゲージ体験⇒②協働のイメージを膨らませる⇒③協働に必要な情報について考える⇒宿題(ブリッジ人材を理解する)
- ・実施したこと

パターン・ランゲージカード



3グループで話し合い(自己紹介・チェック・トシ君のお使い)



トシ君のお使い



手持ちの情報を見せないで口頭で伝え答えを探す



目的適情報収集に気づいた

情報とは



ワーク① 協働の体験を共有(パターンカード 使用)



34枚から1枚選び、各自の体験を対話したカードパターン例

- ・未来への使命感
- ・ゴールへの道のり
- ・アイデアをカタチに
- ・創造の場づくり
- ・拡がりの戦略



② 協働のイメージを膨らませる



ペルソナさんが協働する上でのカードを吟味し3枚を選んだ

- 1G・一度こわす、つくり続ける強さ、インサイド・インベーター
- 2G・一体感をつくる、弱さの共有、共感のチームづくり
- 3G・ファンをつくる、感謝のこたば、成長のリターン

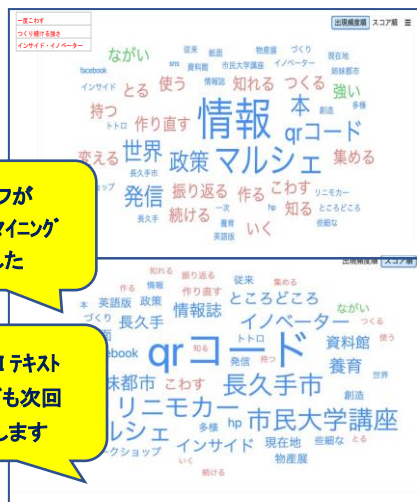
③ 協働に必要な情報について考える

Solution =
問題解決のためのヒント
(カードの表の下に書いてある)
この行動を起こすために
どんな情報が必要か?
どの様に伝えられたら
行動が起きるか?

3つのカードを見て
この行動を起こすための
情報などを模造紙に記入

スタッフが
AIテキストマイニング
しました

他のAIテキスト
マイニングも次回
説明します



事務局からのお礼
市民主体の計画づくりに参加いただき、ありがとうございました。
昨年度は5回のオンライン開催と2回のプレワークショップ、今年度は全てリアル開催ができ、残す1回となりました。

次回(9月18日(日)13:30～16:30)
「協働に必要な人について探求する」
会場：まちづくりセンター
* 連休中ですが、あなたの協力をお待ちしています